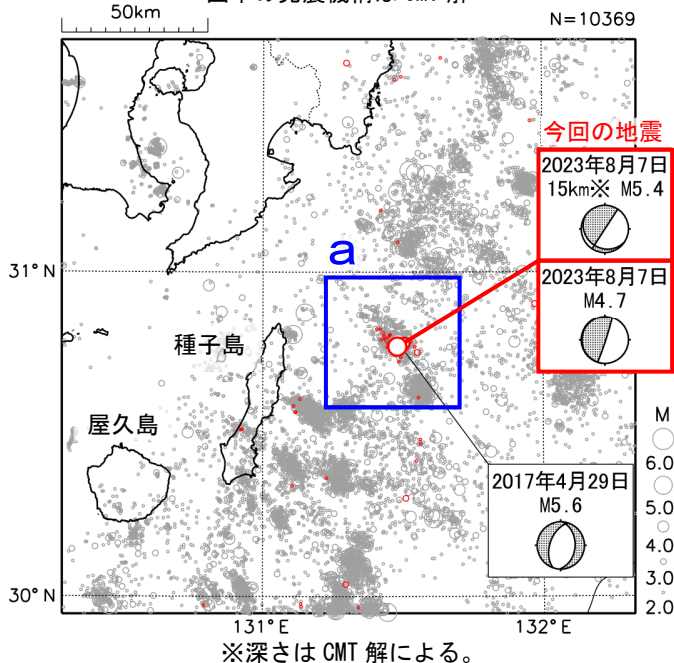


8月7日 大隅半島東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2023年8月31日
深さ0～60km、 $M \geq 2.0$)

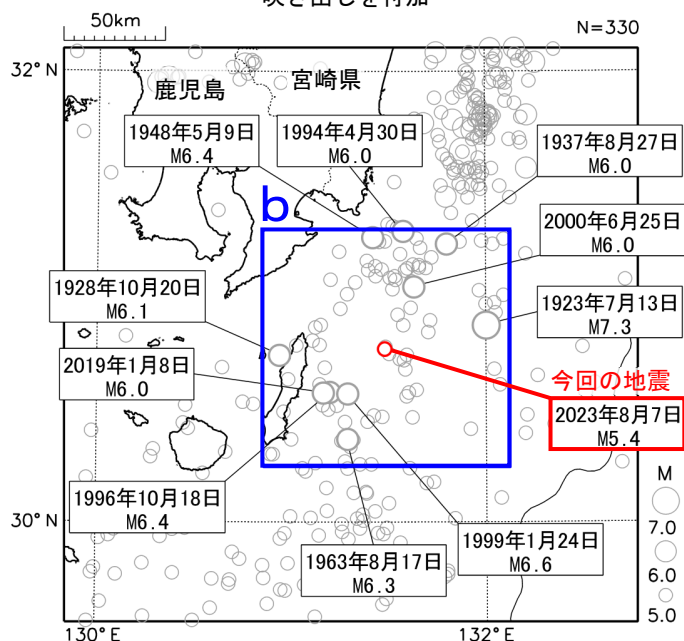
2023年8月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

(1919年1月1日～2023年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2023年8月の地震を赤色○で表示
今回の地震と領域b内の $M 6.0$ 以上の地震に
吹き出しを付加

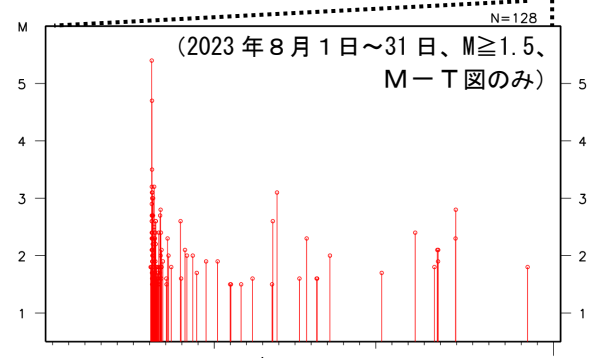
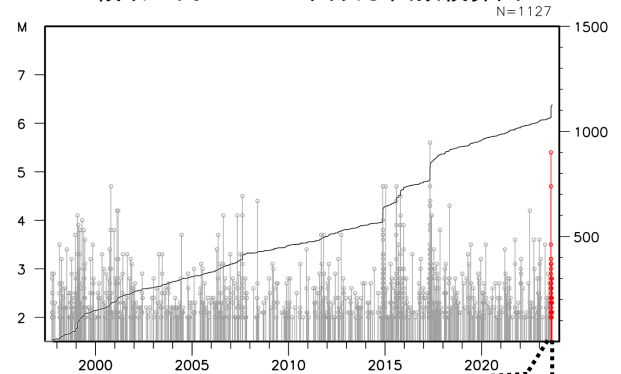


2023年8月7日03時12分に大隅半島東方沖の深さ15km（CMT解による）で $M 5.4$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。また、同日03時32分にはほぼ同じ場所で $M 4.7$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）は、時々まとまった地震活動が見られる。2017年4月29日には $M 5.6$ の地震（最大震度3）後、地震活動がやや活発となり、4月29日から5月4日までに、この地震を含め震度1以上を観測した地震が7回発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1923年7月13日には $M 7.3$ の地震が発生し、種子島の中種子村（現、中種子町）で住家小破27棟、南種子村（現、南種子町）で住家小破約30棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

